

# TOTO

## アクトオート(自動水栓)施工説明書

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

### 安全のために必ずお守りください

お取付けの前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお取付けください。

●この説明書では、機器を安全に正しくお取付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
<b>警告</b>	この表示の欄の内容を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
<b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して、誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

**警告**  
水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームで使用しないでください。故障・感電の原因になります。

修理技術者以外の方は絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。故障・感電の原因になります。

### 注意

コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わないでください。火災の原因になります。

ACアダプタをコンセントに差込むときは、根元まで十分に差込んでください。火災の原因になります。

製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や漏水の原因になります。

直流電源や高電圧の電源での使用は避けてください。火災の原因になります。

### 仕 様

単水栓タイプ	直線タイプ
AC100Vタイプ 曲線Aタイプ TEL30ARX (ADDR) TEL31ARX (ADDR) TEL32ARX TEL36AX TEL37AX	TEL30BRX (BDRX) TEL31BRX (BDRX) TEL36BX TEL37BX
吐水口 LED付センサー ACアダプタ	駆動部 スパウト連結ホース スパウト ハンドル付止水栓
乾電池タイプ	曲線HAタイプ
乾電池ケース 固定ねじ(2ヶ) 乾電池ケース	開閉工具

電 源	AC100V 乾電池	AC100V 50/60Hz
消費電力 (乾電池寿命)	AC100V 乾電池	DC6V (7リカリ)乾電池単3×4本) 定格2W (作動時4W) 月4000回の使用で約2年
電 源 コ ー ド	乾電池	1.9m
給水圧力	最低必要圧 最高水圧	0.5m (流動時) 0.05MPa 0.75MPa
給 水 部 接 続	周囲使用温度範囲	15A 0℃～55℃
周囲使用湿度範囲	周囲使用湿度範囲	90%RH以下
感 知 距 離		自動設定(学習機能内蔵)

スパウト形状は製品品番によって異なり、下表のように曲線Aタイプ・直線タイプ・ハイテザインタイプ・曲線HAタイプがあります。

タイプ	製品番号	備 考
曲線Aタイプ	TEL30ARX	AC100V、「自動」表示あり
	TEL30ADRX	乾電池、「自動」表示あり
	TEL31ARX	AC100V、「自動」表示あり
	TEL31ADRX	乾電池、「自動」表示あり
	TEL32ARX	AC100V、「自動」表示なし
	TEL32ADRX	乾電池、「自動」表示なし
	TEL36AX	AC100V、手動スイッチ付
	TEL37AX	AC100V、手動スイッチ付
	TEL30BRX	AC100V、「自動」表示あり
	TEL30BDRX	乾電池、「自動」表示あり
直線タイプ	TEL31BRX	AC100V、「自動」表示あり
	TEL31BDRX	乾電池、「自動」表示あり
	TEL36BX	AC100V、手動スイッチ付
	TEL37BX	AC100V、手動スイッチ付
	TEL32HX	AC100V、「自動」表示なし
	TEL33HX	AC100V、「自動」表示なし
	TEL33HGX	AC100V、「自動」表示なし
	TEL30HAX	AC100V、「自動」表示あり
	TEL31HAX	AC100V、「自動」表示あり
	TEL31HAGX	AC100V、「自動」表示あり

## 取付け前に

- AC100Vタイフの場合、電源はAC100V(50 / 60 HZ)、最高消費電力は4 Wです。必ずこれに適した配線をしてください。
- 乾電池タイプは配線工事は不要です。(付属の電池をご使用ください。)
- 給水圧力範囲は、0.05～0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。
- センサー面を傷つけないよう十分ご注意ください。
- 給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。下記一覧表を確認の上、該当する製品品番に対応した取付けに取付けてください。
- (取付け穴φ25、φ28に対応した製品をφ35には取付けしないでください。製品と取付け穴に隙間が発生し、カウンター内を濡らす恐れがあります。)

## 給水取出し位置一覧表

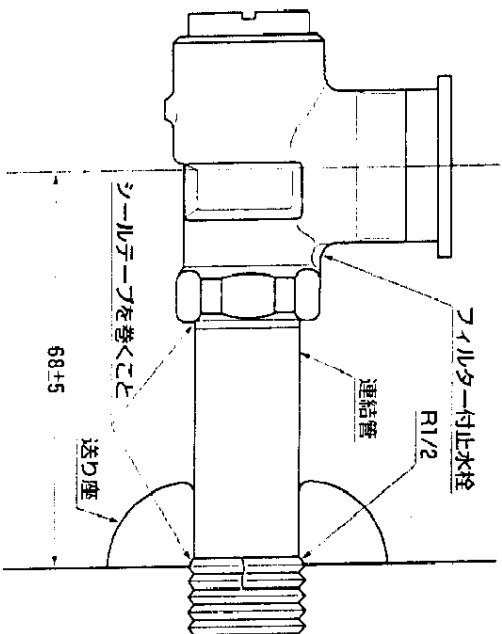
(注) 陶器の品番により取付け寸法が異なります。詳細は、次表を参考の上取付けてください。

自動水栓	取付可能洗面器	排水口中心
製品品番	陶器品番	
TEL L5B・D	A	115
TEL L7	B	350
TEL L8		310
TEL L10D		80
TEL 30ADR	L30D・DM	145
TEL L34		350
TEL 30BRX	L103A	
TEL 30BDRX	L210D・DM	100
TEL 30HAX	L220S・DS	100
TEL 30HAGX	L221・D	130
TEL 32ARX	L230S・DS	300
TEL 32ARX	L237・D	300
TEL 32ADR	L250A・AM・D・DM	100
TEL 32H	L270D・DM	100
TEL 36AX	L331RA	380
TEL 36AX	L507A	75
TEL 36X	L588U	300
TEL 36X	L594U	100
TEL L832		300

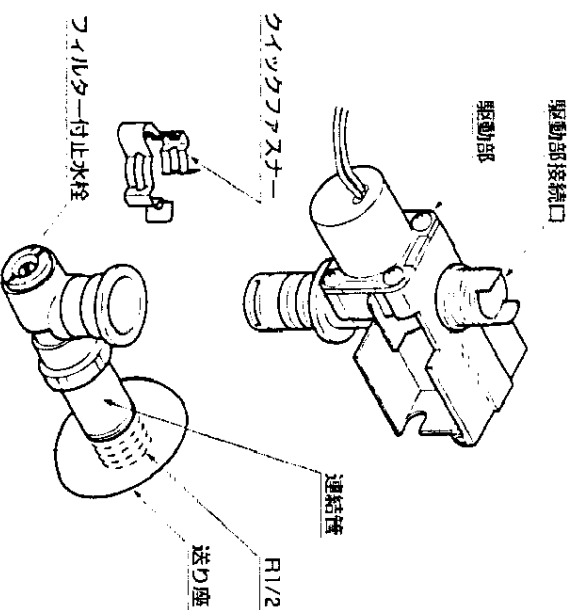


## 施工手順

- 送水座、連結管、フィルター付止水栓を取付けます。



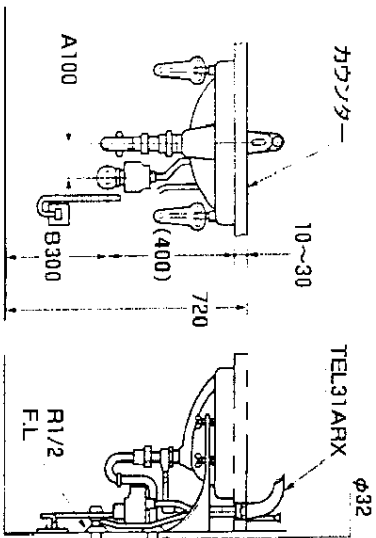
- 駆動部をフィルター付止水栓に取付け、クイックフラスナーで固定します。



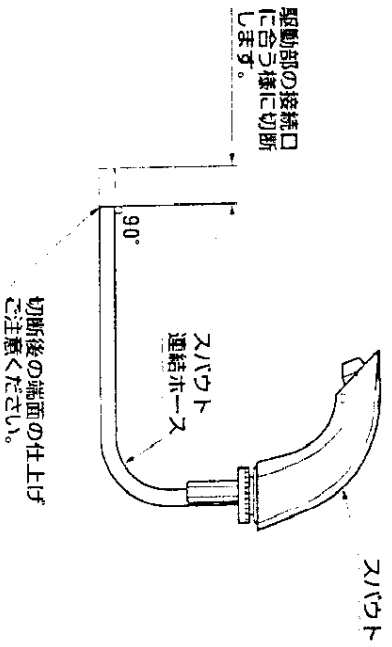
## 完成図(例)

L537U + TEL31ARXの場合

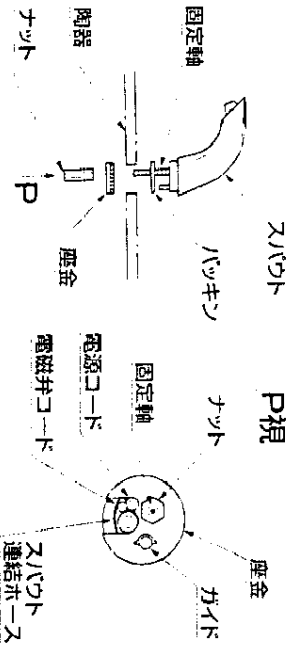
アンダーカウンター式洗面器(L537U)とのセット例



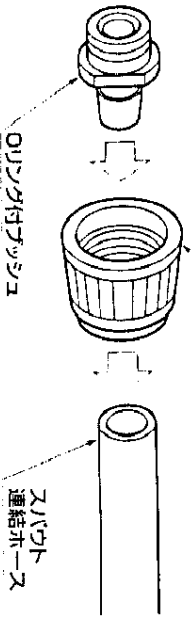
- [3] スバウトを洗面器に仮固定し、スバウト連結ホースを駆動部の接続口に合うように適当な長さで切断します。このときカッター等を用い、切断面が垂直になるように行ってください。



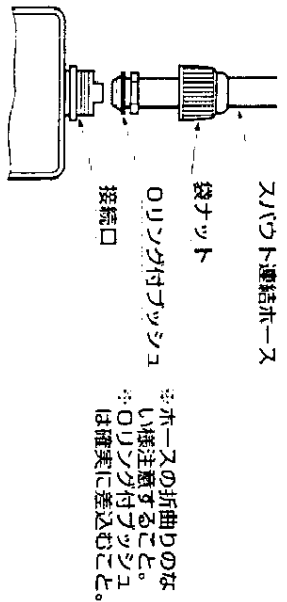
- [4] スバウト部取付下部から、座金をスバウト連結ホースと電源コード、電磁弁コードのかがみ込みに注意して取付けます。座金をとめるナットは、スバウトがゆるまないよう、確実に締付けてください。



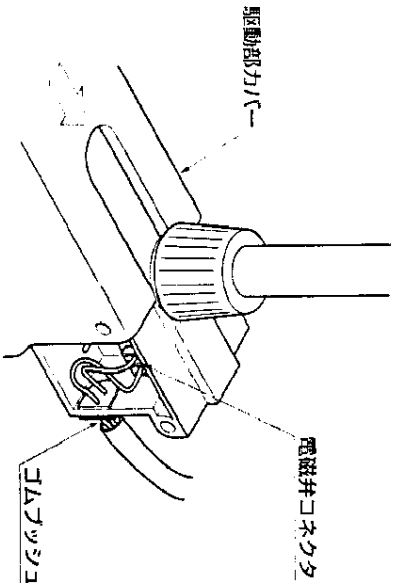
- [5] スバウト連結ホースに端面から、袋ナットを通した後、Oリング付ワッシュを差込みます。  
袋ナットは必ず先に挿入のこと。



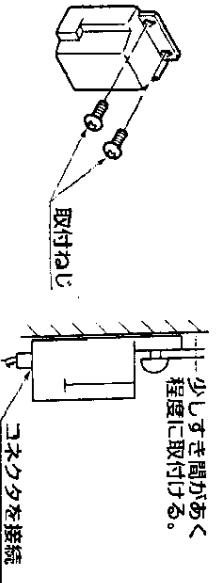
- [6] Oリング付ワッシュを駆動部の接続口に差込んだ後、袋ナットを締付けます。Oリング付ワッシュが、確実に差込まれているか確認し、締付けは手締めにて行ってください。



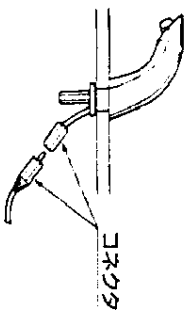
- [7] 電磁弁コネクタを接続し、コムワッシュを取付けます。電磁弁コネクタが確実に接続されているか確認し、駆動部カバーをロックがかかるまで差込みます。



- [8] <乾電池タイマの場合>  
乾電池ケーシングを取付ねじ(ねじ長さ16 mm)2本を使って壁に取付けます。



- [9] <AC100Vタイマの場合>  
ACアダプタのコネクタを接続してください。



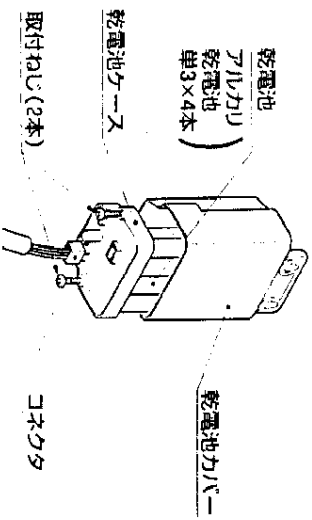
- [10] スバウトを陶器に本固定します。  
(注) スバウトを固定する際は、必ず陶器のボール面中心に向けてください。

排水口	スバウト	スバウト	スバウト
ボール面中心	ボール面中心	ボール面中心	排水口
陶器品番 ・L270C・CM・D・DM ・L5B・D ・L30D・DM ・L34 ・L594U	α(°) 約30°	陶器品番 ・L210C・CM・D・DM ・L230S・DS ・L250C・M・A・AM・D・DM ・L260C・M ・L31BA ・L103A ・L220S・DS ・L221・D ・L237・D ・L507A	α(°) 約60°
	約40°		約70°
	約70°		
陶器品番 ・L7 ・L10D ・L210C ・L250C ・L260C ・L330RC ・L331RC ・L507C ・L510RC ・L517 ・L521C ・L525CU ・L537U ・L546U ・L548U ・L580U ・L581C ・L582CS ・L586U ・L587U ・L830C ・L832 ・L851C			

- [11] <AC100Vタイマの場合>  
ACアダプタをコンセントに差込みます。

12 乾電池タイプの場合

1. 取付ねじ2本をプラスドライバーで外し、乾電池ケーシングを抜き出し、乾電池(アルカリ乾電池単3×4本)を装着します。(乾電池の取付方向に注意してください。)

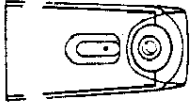


2. 乾電池を乾電池ケーシングに取付け、乾電池カバーに差込み、取付ねじで取付けます。

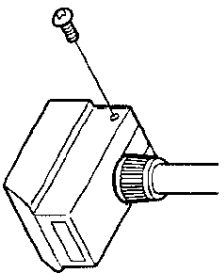
(注) 乾電池ケーシングは縦置にはめ込みください。  
 (注) 乾電池を入れる際乾電池ケーシング内に水が入らないよう注意してください。  
 (注) 最初は付属の乾電池をご使用ください。

1. センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしない状態で、スバウト部のセンサー内LEDが点滅していないことを確認してください。もしも点滅していればスバウトの向きを少し変えて点滅しないところで再固定してください。
2. 電源を入れて約10分後にLED点滅は自動的に消えます。自動消滅する前にスバウト向きの調整作業が完了しなかった場合は電源を入れ直して再度行ってください。
3. 手洗器・洗面器の種類によっては、センサー内LEDの点滅が消えないことがあります。その場合はそのまま設定します。(LED点滅は10分後に消えます。)

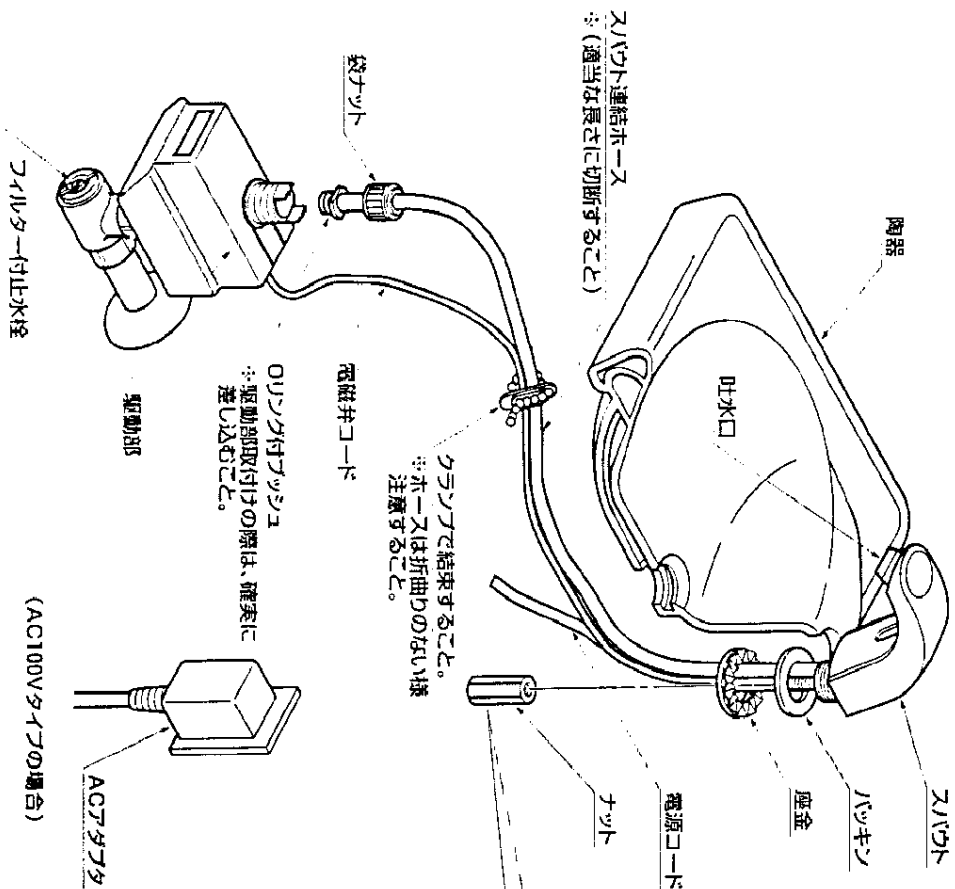
(注) 電源が入ると、直ちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたのちしばらくお待ちください。(約20秒間はこの動作は完了します。)



14 盗難等の恐れのある場合は駆動部カバーを付属のビスにて固定してください。



15 取付完了後の確認、吐水量の調節の頂をご参照のうえ確認、調節してください。



(注) クリーンドライ(温風乾燥機)等とのセットでは、クリーンドライのセンサービームが洗面器内に入らぬ様、それぞれを離してセットしてください。

※このネットの締付用として別売で、専用工具(L240L)を準備しておりますが、下記的一般工具でも取付可能です。  
 1) ソケットレンチ (3対辺13mm)  
 2) T型レンチ(同上)  
 3) ナットスピンナー ハンドル(同上)

壁がコンクリート等の場合には市販のカールラック等を用いて確実に取付けてください。

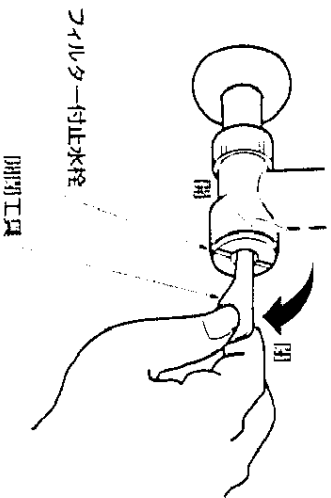
## 取付け完了後の確認

取付けが完了した後、次の方法で確認を行ってください。

1. 止水栓を開いて給水してください。
2. スパウトの吐水口に手を近づけると水が出て、手を離すと約1～2秒遅れて水が止まることを確認してください。
3. センサー感知は、学習方式のため、手を動かさないでいると約15秒で止水します。  
(約1分間連続して感知すると自動的に止水します。再び吐水させたい場合は、一度手を離し、再度手を近づけてください。)
4. 洗面器に水溜めする場合は、センサー前面約5cmの位置に手をかざしたままにしますと、その間約1分間連続吐水します。
5. (手動スイッチ付のみ) スイッチを押すと水が出ます。もう一度押すと止水します。但し、1分間連続して水が出ていると自動的に止水します。
6. 連結管やスパウト連結ホースの接続部から漏水がないか確認してください。

## 吐水量の調節

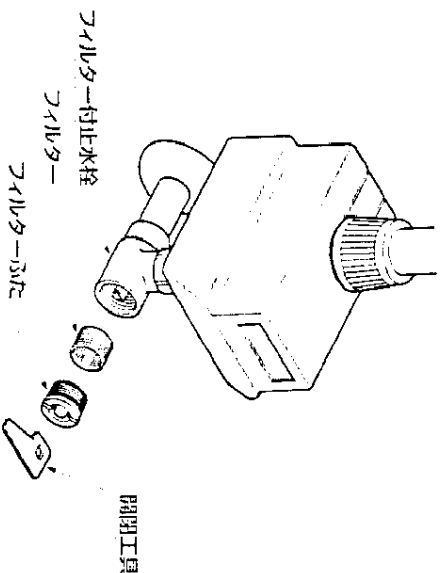
駆動部内部には、定流量弁を内蔵しており基本的に調節は不要ですが、手洗器等でボールが小さい場合や吐水の勢いが強すぎて衣服の袖等をぬらす恐れがある場合は、付属の開閉工具でフィルター付止水栓を回して吐水を絞って調節してください。



## フィルターの掃除

フィルターがつかまると吐水量が少なくなり、十分な機能が發揮されなくなります。器具取付け後は、必ずフィルターを掃除してください。また、お客様にもとまどき掃除していただくようにご指導ください。

●フィルターを取外す時は、付属の開閉工具で止水栓を閉めた後、フィルターふたを外してください。



## 乾電池交換

〈乾電池タイプの場合のみ〉

乾電池が切れると、スパウト部センサー内のLEDが、数日間感知するたびに1秒間隔で点滅します。また、機能が停止していれば、まずは電池の交換を行ってください。よう、お客様にご指導ください。

1. 交換要領(電池装着の項を参照ください。)

- (1) コネクタを乾電池ケースからはずします。
  - (2) 乾電池ケースの取付けねじをゆるめます。
  - (3) 乾電池ケースを抜き出し乾電池を交換します。
- (注) この際、乾電池は異種や新旧の乾電池を混合しなさいでください。

(4) もとどおり乾電池ケースを差込み、取付けねじで取付けます。

(5) コネクタを乾電池ケースに取付けます。

2. 交換要領をお客様へ説明してください。  
なお交換要領の詳細は“取扱説明書”をご覧ください。

## お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

なお、お手入れ方法は、“取扱説明書”をご覧ください。